

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-23-2-7・9・13 事業名：市街地復興関連小規模施設整備事業（荒浜地区）		
事業費 総額 147,508 千円 国費 118,006 千円 （内訳：用地費 674 千円、補償費 984 千円、測量設計費 27,187 千円、工事費 118,663 千円）		
事業期間：平成 25 年度～平成 29 年度		
事業目的：防災集団移転促進事業による移転先団地整備に併せ、既存市街地等への接続道路を一体的に整備し住環境の整備を図る。		
事業地区：荒浜地区		
事業結果：町道箱根田東線 L=473m W=6.0m 中野地区公道 L=240m W=6.0m <平成 25 年度> 測量・設計 <平成 26 年度～平成 29 年度> 工事		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○当該事業で整備した道路により移転先団地から荒浜小学校周辺等へのアクセスが向上し、地域住民の「にぎわい」と「なりわい」が活性化し住環境に寄与した。上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。		
② コストに関する調査・分析・評価 ○本事業は工法検討や経済比較などを実施し、土木工事積算標準書を用いた合理的な設計積算のもと事業を推進したため、事業費は妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間
測量・設計	平成25年 3月～平成26年 2月	平成25年 5月～平成27年 2月
工事	平成26年 1月～平成27年 3月	平成26年10月～平成30年 3月
○本事業は平成 25 年 5 月から事業に着手し、防災集団移転先地の造成と調整を行いながら、平成 30 年 3 月に事業を終えており、当初想定した期間より時間を要したものの、競争入札方式などを採用するなど、事業手法としては妥当であったと判断する。		
事業担当部局 巨理町都市建設課都市整備班 電話番号：0223-34-0507		